

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（店長）	・これまで中止や延期となっていた地域の祭りも開催されるようになる。コロナ禍で自粛していた外出、消費が増えるとみている。
	◎	コンビニ（副店長）	・国際線の再開に伴い、今後はインバウンドの回復に期待ができる。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・観光客も増えて経済が潤っている。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いており、ワクチン対策も進んでいる。
	○	百貨店（店舗企画）	・行動制限のない年末年始の集客に期待している。特に外国人観光客の動きが徐々に見始めているのは明るい材料となっている。
	○	スーパー（企画担当）	・現在、国内観光客が増えており国際線も一部の定期便が再開されていることから、観光業が中心産業である沖縄においては良い傾向である。3か月先にはその他の産業にも波及し、消費者の購買意欲が改善されることが期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴って来客数が回復しつつある。また客単価も上昇しており、観光客も増加しているため今後の消費の拡大が期待できる。
	○	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波は懸念されるが、県経済は観光を中心に更に活発化すると考える。
	○	衣料品専門店（経営者）	・この全国旅行支援の期間は良いかとみている。
	○	家電量販店（営業担当）	・物価高への慣れと、観光客の増加などの要因で来客数が若干改善する。値上げの影響で単価が上昇する。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・全国旅行支援が終わったらどうなるかは不明であるが、これをきっかけにまた移動欲が高まるのではないかと考えている。陶器においては秋冬は来年の需要が高まる。
	○	一般レストラン（代表者）	・忘年会の問合せが増えている。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊に関しては、引き続き全国旅行支援が旅行需要を押し上げて予約が増えている。飲食は企業が若干増えつつある。
	○	観光名所（職員）	・インバウンド個人旅行の解禁が影響する。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は2019年と変わらないところまで回復している。今後はインバウンドの動きも活発になると想定しており、受注増加を見込んでいる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月はあらゆるものの値上がりの影響か、客は生活防衛の観点から買い控えがあるようにみられる。売上は上がらない状態が続き、景気は悪いままである。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・長納期化が常態化するなか、耐えられずにキャンセルする客が散見され、今後の動向が懸念される。
	□	通信会社（営業担当）	・10月の結果だけを見ると消費は戻ってきている兆しはあるが、今後続くかは不明である。新型コロナウイルスの新規感染者数も下げ止まりの状態、またいつ第8波が来るか分からないため、今来店している客を大切に次の来店へとつなげていく。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・最近の消費者物価上昇などの景気環境を考えると、この時期の住宅取得等に関してちゅうちょする人が多いのではないかとみられる。
	□	住宅販売会社（役員）	・相変わらず建築費の高騰が落ち着かず、物件価格を押し上げ、賃貸アパートや分譲マンションの供給減を招いている。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの10月の販売室数は前年比262%増加なのに対し、10月末時点での来年1月の予約室数は前年比84%増加と、プラス幅が小さくなっている。
▲	旅行代理店（マネージャー）	・全国的なキャンペーンの後は、その反動で下火になるのも経験済みである。流出した客を元に戻せるかが課題である。	
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しつつあり、状況が多少は良くなっているが、まだ全体的には来客数も戻らず、大変な状況は続くともみている。	
×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・店が忙しくなってきたら、暇に慣れたスタッフが耐えられず辞めていくが、幾ら採用を掛けても求人が間に合わない。そのため稼ぎ時の週末に入店規制を掛けなければならない。また少ないスタッフに既定の休みを入れるために、店休日を多く入れなければならないと売上が上げられない。	
企業 動向 関連	◎	食料品製造業（役員）	・今後は外国からの定期便も徐々に増え、観光客数も増加し、年末に向け売上はこれまで以上に増加するとみられる。

関連 (沖縄)	○	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調に進み、民需部門では宮古島、石垣島のホテル関係で回復してきている。新型コロナウイルスオミクロン株も沈静化し、観光関連の盛り上がりが見られる。石垣島におけるフィリピン産川砂からの変更も現状は中途半端の状態である。
	○	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の感染拡大がなければ良くなると期待する。
	○	会計事務所（所長）	・観光から関連産業への経済波及効果が見込まれると期待できる。
	□	建設業（経営者）	・高額な注文の相談は少し増えてきているが、社会情勢、円安で金利動向に客が不安を持ち、そのまま契約まで進めるか未定である。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、観光産業が活気付いている状況ではあるが、物価高騰の影響により販促費を見直す動きもあることから、景気の先行きは不透明である。
	▲	窯業土石業（取締役）	・更なる原材料価格の値上げがあるが、価格転嫁に苦慮しており収益悪化が懸念される。
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・観光客の増加により、接客業やその周りの飲食業、飲食業に関わる企業の動きが活発になりそうである。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・物価上昇とともに、買い渋りが増えそうである。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・年末に向けて求人数は減少すると予測しているが、年明けに向けた採用活動計画は活性化してくる。11月から12月の減少と1月の増加でプラスマイナスゼロ程度かとみている。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足で求人条件を良くすることができる会社はうまく人材確保ができるとみられるが、現状はそれができない会社が多く、新型コロナウイルス感染症発生前の水準に観光客数が戻ったとしても、対応できないという声もある。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・年末年始に向けて、採用活動が鈍くなってくるため、求人数だけをみれば減少傾向になっている。ただし、現在応募がない求人を掘り起こしていけばまだ採用数としては出てくるため、相殺して変わらないと回答する。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響はもうしばらく受けそうな雰囲気がある。
	▲	—	—
×	—	—	